

第5回 京都医療センター 1型糖尿病セミナー

1型糖尿病患者の インスリン自己調節アルゴリズム

1型糖尿病患者のインスリン所要量は、食事内容やインスリン感受性の変動によりつねに増減しているため、患者本人が適切なアルゴリズムに基づいてインスリン投与量を調節する必要があります。この自己調節アルゴリズムの核となるのが、カーボカウントによる超速効型インスリン量の調節と、修正インスリンによる偶発的な高血糖に対する対処です。本セミナーでは、1型糖尿病患者のインスリン自己調節アルゴリズムにつき、**実地臨床に役立つよう受講者参加型の講習**を行います。対象は、1型糖尿病診療に関心がある医師(内科・小児科)およびコメディカル(栄養士・看護師・薬剤師・臨床検査技師など)で、これまでの1型糖尿病診療の経験は問いません。みなさまのご参加をお待ちしております。

主催： 独立行政法人国立病院機構京都医療センター糖尿病センター

日時： 2010年8月28日(土) 11:00-16:00

場所： 独立行政法人国立病院機構 京都医療センター
外来管理診療棟4階 大会議室にて

地図： 当院HP (<http://www.hosp.go.jp/~kyotolan/>) をご参照ください。

定員： 40名(先着順)

費用： 2,000円(参加費 1,000円、昼食代 1000円、要事前振込)

申込方法： 氏名(ふりがな)・所属・職種・郵便物送付先住所・電話番号を記載の上、下記宛先まで電子メールにてお申し込みください(電話・FAXによる申し込みは受け付けておりません)。

連絡先： kmct1dm-project@umin.ac.jp (糖尿病センター 村田)

プログラム

	テーマ	講師
11:00-11:10	はじめに なぜインスリン自己調節が 重要なのか？	山田 和範 (糖尿病センター 医長)
11:10-12:00	概論 カーボカウントの理論・ 歴史的背景・エビデンス	村田 敬 (糖尿病センター 医師)
12:00-13:00	昼食	
13:00-13:50	ワークショップ(1) 炭水化物の認識と 食品成分表示の解釈	森住 蘭 (栄養管理室 管理栄養士)
13:50-14:00	休憩	
14:00-14:50	ワークショップ(2) インスリン炭水化物比率の 算出とインスリン自己調節	山地 聡子 (栄養管理室 管理栄養士)
14:50-15:00	休憩	
15:00-15:50	ワークショップ(3) 修正インスリンと シックデイ対策	高田 理永 (看護部 看護師)
15:50-16:00	総括	村田 敬 (糖尿病センター 医師)

※本セミナーは「日本糖尿病療養指導士 認定更新のための研修会」
(1単位)として日本糖尿病療養指導士認定機構に申請予定です。

※本セミナーは2009年3月に行った第1回京都医療センター1型糖尿病
セミナーとほぼ共通の内容です。

※筆記具、電卓を持参してください。

※駐車場のサービスはしておりませんので、公共交通機関にてご来場
ください。